

タイの高校生が日本の高校生活を体験

～結城第一・結城第二・鬼怒商業高校～



結城第一高校 4/9～18

お別れ会で2年4組クラスメートと一緒に



結城第二高校 4/20～27

陶芸の授業に参加



結城第二高のバスケットボール部に参加



鬼怒商業高校 4/9～20

全校生徒との交流会

タイ舞踊の披露 ポップさんとバットさんによる踊り



お菓子づくりの合間に
記念撮影



各クラスと交流で「クレープ」を作る生徒ら

タイの高校生4人が結城市内で過ごした1か月。クラスに大勢の友達ができ、勉強、スポーツ、部活動と日本の高校生活をクラスメートと満喫してきました。4人は、メーサイ高校のジュラト・アピウオン（愛称ジェイジェイ）さんとラリタ・チェチャムノンキット（愛称ミー）さん、パタヤピタヤコム高校の Choradha・Gelnyen（愛称ポップ）さんとナパトソン・ゲルモール（愛称バット）さん。タイのメーサイ市と結城市の姉妹都市締結を機に、公益財団法人「茨城国際親善厚生財団（IIF）」が教育交流の一環で平成30年4月5日に招き、結城第一、結城第二、鬼怒商業高校の3校で高校生活を体験しました。

ジェイジェイさんとミーさんは、18日まで結城一高、20日からは結城二高で体験。結城一高では授業に出席し、柔道部やバドミントン部で部活も体験しました。18日にお別れ会が開かれクラスメートとお団

子づくりをし、クラスメート手作りのプレゼントが送られました。20日からは結城二高で陶芸や着付けなど日本の伝統文化、ダンスなどの同校の特色ある授業を学びました。

ポップさんとバットさんは、鬼怒商業高で体験。授業を受け、バドミントン部などの部活にも参加し、日本の高校生活を満喫。20日に交流会が開かれ、吹奏楽部による日本の歌謡曲演奏で2人を歓迎、2人はタイ舞踊を披露して歓迎にこたえ、スライドで日タイ両国を紹介しました。23日から5日間にわたり、2年生の各クラスの生徒と、お団子やクレープなどお菓子づくりにチャレンジし、交流を深めました。

「日本の人たちはみんな親切。タイに来た時には、是非案内させてほしい」「日本で働いてみたい」などと話す4人はたくさんの思い出を胸に詰めて28日に帰国します。

平成30年4月26日

© Tasseido group